

原発性高血圧に対する(上皮性ナトリウムチャンネルを遮断する)カリウム保持性利尿薬の血圧下降有効性 (2012 issue 11; Update)

CITATION: Heran BS, Chen JMH, Wang JJ, Wright JM. Blood pressure lowering efficacy of potassium-sparing diuretics (that block the epithelial sodium channel) for primary hypertension *Cochrane Database of Systematic Reviews* 2012, Issue 11. Art. No.: CD008167. DOI: 10.1002/14651858.CD008167.pub3.
CRG名: Cochrane Hypertension Group.

[最新版\(英語版\)はこちら](#)

英語版最終改訂年月: 1 October 2012

Clib issue No.; N/U: 2012 Issue 11; Update

アブストラクト

背景: 上皮性ナトリウムチャンネル(ENaC)を遮断するカリウム保持性利尿薬は、他の利尿薬(サイアザイド利尿薬など)を服用している患者の第二選択薬として高血圧に対し広く処方されており、単剤療法として処方されることは少ない。したがって、ENaC遮断薬を第一選択または第二選択療法として投与した場合、血圧(BP)、心拍数および有害作用による中止(WDAEs)への効果を明らかにすることは不可欠である。

目的: 原発性高血圧患者における第一選択または第二選択療法としてのENaC遮断薬療法による収縮期血圧(SBP)および拡張期血圧(DBP)の用量関連性の低下を定量化すること。

検索戦略: CENTRAL(コクラン・ライブラリ2012年)、MEDLINE(1950~2012年8月)、EMBASE(1980~2012年8月)、および論文の参考文献リストを検索した。

選択基準: 原発性高血圧患者を対象に3~12週の期間で以下の血圧下降有効性を評価している二重盲検ランダム化比較試験(RCT):(1)プラセボと比較した固定用量のENaC遮断薬単剤療法、(2)個々の単剤療法(ENaC遮断薬以外)と比較した、他のクラスの降圧薬と併用したENaC遮断薬。

データ収集と分析: 2名のレビューアが別々にバイアスのリスクを評価しデータを抽出した。その後追加された情報について研究著者に連絡を取った。WDAEの情報も試験から収集した。

主な結果: 原発性高血圧患者を対象に単剤療法としてのENaC遮断薬のBP下降有効性を評価した試験を同定しなかった。ベースライン血圧151/102 mm Hgの496名の参加者を対象に第二選択薬としての低用量アミロライドおよびトリウムテレンのBP下降有効性を評価した試験は6件のみであった。第二選択薬としてのENaC遮断薬による追加のBP低下を、併用療法群と単剤療法群とのBP低下の差を比較して推定した。これらの試験では低用量アミロライドおよびトリウムテレンの追加により、BPは低下しなかった。ENaC遮断薬の用量関連性BP低下の有効性は、高用量での試験データがなかったため推定できなかった。

レビューアの結論: ENaC遮断薬には、低用量で統計学的および臨床的に有意なBP下降効果はなかったが、高用量での試験は入手できていない。本レビューでは、ENaC遮断薬に関連性のある有害性の罹患率について良好な推定値を示せなかった。

平易な要約(Plain language summary)

ENaC遮断薬の血圧下降効果は不明です。

上皮性ナトリウムチャンネルを遮断するカリウム保持性利尿薬(ENaC遮断薬とも呼ばれる)は、カリウムの喪失Careを防ぐためよく処方されるクラスの薬ですが、上昇した血圧を下げるのにも有用である可能性があります。このクラスの薬には、アミロライド(Midamor、Amilzide)やトリアムテレン(Dyrenium、Dyazide)などがあります。このクラスの薬を高血圧の治療に単独で使用した場合、または二番目の薬として使用した場合、どれくらい血圧が下がるか調べることにしました。この疑問に取り組んでいるすべての試験を見つけるため、入手可能な学術文献を検索しました。単独で使用した場合、ENaC遮断薬によりどれだけ血圧が低下するか研究している試験はありませんでした。二番目の薬として追加した、アミロライドおよびトリアムテレンの血圧低下作用を研究している、参加者496名の6件の試験を見つけました。6件の試験はすべて、低用量のENaC遮断薬について検討しており、血圧低下作用はありませんでした。高用量でのこれらの薬により血圧が低下するか明らかにするため、その試験を行う必要があります。研究されていたのは低用量で試験期間も短かったため、ENaC遮断薬に関連性のある有害性をこのレビューでは推定できませんでした。

(監訳 相原 守夫)

翻訳公開日:2014年 1月 28日

ご注意:この日本語訳は、臨床医、疫学研究者などによる翻訳のチェックを受けて公開していますが、訳語の間違いなどお気づきの点がございましたら、Minds事務局までご連絡ください。なお、コクラン・ライブラリは年12回改定版が発行されます。Mindsでは最新版の日本語訳を掲載するよう努めておりますが、編集作業に伴うタイム・ラグが生じている場合もあります。ご利用に際しては、最新版(英語版)の内容をご確認ください。